

日中対照言語学会会報 (No.38)

2017年1月16日(月)発行 会報担当: 続三義 加藤晴子

目次

1. 第4回常務理事会拡大会議(冬季大会・2016年12月25日)議事録
2. 日中対照言語学会第36回大会(2016年度冬季大会)の報告
3. 月例会(2016年12月)

※ 事務局より

1. 第4回常務理事会拡大会議(冬季大会・2016年12月25日)議事録

日時: 2016年12月25日(日) 12:20~13:20

場所: 大阪産業大学梅田サテライト(大阪駅前第三ビル19階)

出席者: 続三義、加藤晴子、王学群、于康、下地早智子、高橋弥守彦、竹島毅、張黎、彭飛、
安本真弓、余維、時衛国、藤田昌志、魯曉琨、王慶、白石裕一(敬称略)

【審議事項】

① 常務理事・理事の推薦等

続理事長より名古屋大学の丸尾誠理事を常務理事に推薦するという提案があった。すでに本人に確認しており、全会一致で承認をし、次年度の春季大会時の総会にて追認することとした。

続理事長より元会計係の椿正美会員の理事推薦と、張黎常務理事より岡原嗣春会員の理事推薦があり、全会一致で承認をし、次年度の春季大会時の総会にて追認することとした。

② 学会顧問の推薦

続理事長より、2016年度で定年退職になる高橋弥守彦元理事長を学会の顧問に推薦する提案があり、全会一致で承認をし、次年度の春季大会時の総会にて追認することとした。

【報告事項】

① 第37回大会(2017年度春季大会)について

2017年5月28日(日)に大東文化会館(東京都板橋区)で開催される。具体的なスケジュールなど、また追って検討してお知らせする。

② 学会誌第19号『日中言語対照研究論集』編集の進捗状況

平山邦彦査読委員長より書面の報告があり、投稿の締め切りは終了し、27編の投稿があり、査読委員に原稿を送り、査読進行中ということである。

これに関連して、学会誌18号の投稿論文の査読に際し、一部の査読委員から査読を断られた

ことに鑑み、続理事長から、査読資格を持つと思われる会員の皆さま、特に、常務理事と理事の皆さまに出来るだけ学会の仕事を支援し、査読の依頼を受け入れてくれるよう、引き続き要請するという提案があり、了承された。

③ 日本学術会議協力学術団体への登録申請に関して

ネット上で常務理事会を開催し、これまでの課題として、日本学術会議協力団体への登録を目指し、確実に関係手続を進めていく。学会の理事長（続）、副理事長（加藤、于）、事務局長（王）をそれぞれ、申請準備委員会の委員長、副理事長、事務局長とし、そして竹島常務理事、安本常務理事、会計係の白石会員、監査係の石井会員などとともに、会員名簿など関係書類の整理を進め、2017年度春季大会の時までに、申請の目途がつくように努力していく。

会員名簿の完全化を目指して、学会の会員の皆様に、氏名、所属、役職、性別などに関するアンケート調査を実施する。会員の皆様のご協力を期待したい。

④ 2016年度の会員数の確認

白石裕一会計係から、今年度の会員の会費納入が順調に進み、136名の会員から会費納入のあったことが報告された。2016年度の新入会員も順調に増え、11月30日までに25名（一般10名、院生15名）の方が新たに加わった。12月23日現在、会員数は210名に上ることが確認された。

⑤ 全国的に会員募集の活動の展開

高橋常務理事の提案で、学会の一層の発展を図り、全国的に会員の募集に力を入れていくことが確認された。

2. 日中対照言語学会第36回大会（2016年度冬季大会）の報告

日中対照言語学会第36回大会（2016年度冬季大会）は予定通り、2016年12月25日（日）に、大阪産業大学梅田サテライト（大阪駅前第三ビル19階）で開催された。全国からの会員及びその他の方々が70人ほど出席し、本学会特有のさわやかな雰囲気の中、研究発表と講演及び討論が行われた。予定していた午後の第2セッションの研究発表の司会をする原由起子理事が体調不良のため、続理事長が代わりに司会を行った。大会のプログラムを再録しておく。

日中対照言語学会第36回大会（2016年度冬季大会）のご案内

記

日 時：2016年12月25日（日）9：10～18：20

会 場：大阪産業大学梅田サテライト（JR大阪駅南口下車、阪神百貨店右の通りを直進、徒歩約5分、大阪駅前第三ビル19階。大阪市北区梅田1-1-3。電話 06-6442-5522）

参加費：1,000円（会員、非会員共通）

プログラム

受付（8：50－） 総合司会 下地 早智子（神戸市外国語大学）

大会開催校挨拶 張 黎（大阪産業大学） 9：10－9：15

開会の辞 于 康（関西学院大学） 9：15－9：20

研究発表1. 中国語における名詞独立文の意味機能について——日本語との対照を通じて——

肖 海娜（神戸市外国語大学大学院） 9：20－9：45

研究発表2. 容器の認識と松明の原理から見る“大”の強調の意味 9：45－10：10

岡原 嗣春（大阪産業大学など非常勤講師） 以上司会 彭 飛（京都外国語大学）

休憩（10分 10：10－10：20）

研究発表3. 開始義を表す「V上」「V起来」「V开」の比較研究

——文法的使い分けと意味的分析を中心に—— 10：20－10：45

鄧 鷗（新潟大学大学院）

研究発表4. 日本語「習得」に関する動詞のクオリア構造についての分析 10：45－11：10

蘇 丹（広島大学大学院） 以上司会 竹島 毅（大東文化大学）

休憩（10分：11：10－11：20）

研究発表5. 中国語疑問マーカーにおける歴史変化過程の再検討 11：20－11：45

杜 曉磊（広島大学大学院）

研究発表6. 語気助詞と文末助詞の分類についての一考察 11：45－12：10

蘇 霖坤（神戸市外国語大学大学院） 以上司会 安本 真弓（高千穂大学）

昼休み（60分 ビルの階下に食堂街あり） 12：10－13：10

講演1. 语言对比研究中的翻译问题 13：10－14：10

林 璋（福建师范大学 関西学院大学） 司会 于 康（関西学院大学）

講演2. 现代汉语副词的性质、特征与类别——兼谈现代汉语副词研究的当前状况与课题

张 谊生（上海师范大学） 14：10－15：10

司会 張 黎（大阪産業大学）

休憩（10分：15：10－15：20）

研究発表7. 接客場面における不満表明の応答に関する研究

——「謙虚」と“谦虚”を例にして—— 15：20－15：45

胡 敏男（北九州市立大学非常勤教師）

研究発表8. 可能表現における日中対照-能願動詞の意味分類について 15：45－16：10

李 娜（北海道大学大学院） 以上司会 余 維（関西外国語大学）

休憩（10分：16：10－16：20）

研究発表9. “刚”、“刚刚”、“刚才”と時間範疇 16：20－16：45

王 慶（九州外国語学院）

研究発表10. “一点儿”“有点儿”についての語用的考察 16：45－17：10

時 衛国（愛知教育大学） 以上司会 原 由起子（姫路獨協大学）

休憩（10分：17：10－17：20）

研究発表 11. 動作主中心表現と事物中心表現—身体部分を含む表現について—日中対照表現論

藤田 昌志(三重大学) 17：20－17：45

研究発表 12. 中日両言語における副詞の位置 17：45－18：10

高橋 弥守彦(大東文化大学) 以上司会 王 学群(東洋大学)

閉会の辞 加藤 晴子（東京外国語大学） 18：10－18：20

※昼食の間、拡大常務理事会を開催予定。

※当日入会申し込み、学会費の納入も受け付けます。（年会費：社会人 4,000 円、院生 2,000 円）

3. 月例会（2016年12月）

日 時：2016年12月3日（土）17：00～19：00

場 所：大東文化会館 K-404

発表者：劉 傑（広島大学・博士後期課程3年）

テーマ：程度副詞「もっと」と“更”に関する日中対照研究——願望表現との共起問題を中心に——

事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会ホームページ上で随時受け付けています。申し込みができない場合、王学群事務局長（ohgakubun@toyo.jp）、または竹島毅常務理事（sisi@kkd.biglobe.ne.jp）までご連絡をください。年間会費は社会人 4,000 円、院生 2,000 円となっています。
- 2) 毎月の例会の開催は、郵送ではなく、メールにてご連絡させて頂いております。不明の方がいらっしゃいますので、ぜひお知らせいただきたくお願い申し上げます。また、メール変更につきましても、同様にお願い申し上げます。
- 3) 第 37 回大会（2017 年度春季大会）発表者募集について
2017 年 5 月 28 日（日）に大東文化会館で開催される第 37 回大会の発表希望者は、2017 年 3 月 10 日（木）までにテーマと要旨（500 字前後）を続三義（xu_sanyi@toyo.jp）、王学群（ohgakubun@toyo.jp）のいずれかまでお申し込みください。

